

公立学校共済組合が 新たな中核病院の建設予定地を決定

— 現三島医療センターの場所が建設予定地になりました —

問 四国中央病院 総務課

58-3515

保健推進課 地域医療対策室

28-6157

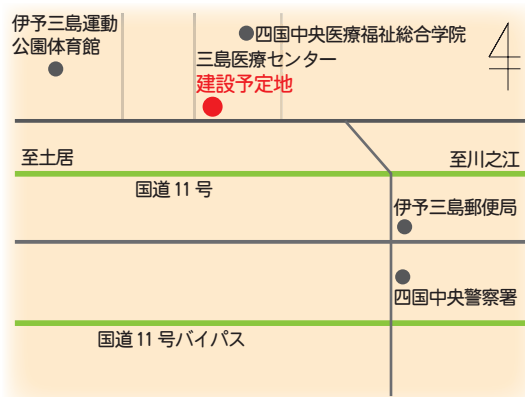
建設予定地が決まりました

公立学校共済組合から四国中央市の皆さまへ

四国中央病院を運営する公立学校共済組合は、平成22年に旧県立三島病院の移譲を受けた際、将来、三島地区に四国中央病院と三島医療センターを統合した中核病院の再建築を目指すこととし、この新病院の建設について検討してきました。

現在の三島医療センターの土地について、液状化が懸念されていたことから地盤調査や現存建物の強度、劣化調査などを実施した結果、液状化対策を講じることにより、病院の建設が可能であることが明らかになりました。

この結果を受け、公立学校共済組合では、これまで建設の第1候補地としていた同地を新たな中核病院の建設予定地とすることに決定しました。



建設予定地位置図



現在の三島医療センター

今後、関係機関と連携を図りながら、鋭意計画を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

今後の予定について

今後は工事の方法、工期、費用などを検討し、建設準備を進めていきます。

当初の計画では、令和7年度の開院を目指していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、スケジュールについては、再度調整していきます。

これまでの経緯

平成22年2月

県、県公営企業管理局、公立学校共済組合の3者により、「宇摩圏域の地域医療確保に関する協定書」を締結

平成22年4月

県から公立学校共済組合に県立三島病院を移譲、三島医療センターに名称変更

平成30年11月

三島医療センターの土地を第1候補地に選定

平成31年3月

「公立学校共済組合が設置する中核病院のあり方協議会」による協議を重ね、令和2年3月に報告書を取りまとめ

令和元年9月

三島医療センターの診療休止（耐震性などの調査のため）

令和2年3月
令和2年9月

三島医療センターの耐震・液状化などの調査

